

ふれあいサロンに参加して前向きに ～心の荷物を分け合い、寄り添う居場所～

令和6年2月、新たに扇地域にできたふれあいサロン「ちゃーちゃんのいえ」。長年介護関係の仕事をし、自身も家族の介護をしている代表者が「介護の悩みをもっとみんなで話したい。経験を伝えたい」という思いで立ち上げた介護者のつどいです。

参加者は「この場があったから前向きに考えることができた。もっとちゃーちゃんのいえを広めたい」と話します。

介護中の方はもちろん、これから介護する方、介護の話聞いてみたい方など、どなたでも参加できます。みなさんも、おやつとお茶でゆっくりお話ししてみませんか。



この日のおやつはスタッフが作ったかぼちゃパン。いちごもついて、ますますおしゃべりも弾みます。参加すると手作りお菓子が食べられるかも？



自然とそれぞれの介護の悩みや経験の話に。知り合ったばかりの関係だからこそ胸の内を話せることがあります。



ちゃーちゃんのいえ開催中の看板はスタッフの手作り。サロンの雰囲気同様、ほっこり心が温まります。

取材日：令和6年3月20日 参加者数：7名

取材メモ：話していると、参加者同士で企画のアイデアがどんどん出てきます。サロン内でのイベントも企画しているようです。（足立社協 西部地区担当）

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374